



# ほっとアングル

## 「がんどうたせてちょうだいっ！」

3月の桃の節句に子どもたちが家々を回り、おひな様を見て回り、お菓子をもらう風習の「がんどうち」が行われました。

参加した子どもたちは、「がんどうたせてちょうだい」と大きな声で言うと、職員からお菓子をいっぱいもらい大喜びでした。

2月26日(土)：みのかも文化の森



## 2,000人が参加！東海環状自動車道 開通記念ウォーキング大会

開通間近の東海環状自動車道美濃加茂IC・SAで、開通記念地域交流イベントが開催されました。

サイクリング大会などのほか、開通前の道路を歩くウォーキングには、2,000人が参加。参加者は約6キロの行程を、沿線の風景を楽しみながらマイペースで歩きました。

3月6日(日)：  
東海環状自動車道美濃加茂IC・SA付近

## 「在住外国人子弟の教育を考える フォーラム」

日本に住む外国人の子どもたちの教育について考える、「在住外国人子弟の教育を考えるフォーラム」が行われ、子どもを持つブラジル人の保護者ら約30人が参加しました。

フォーラムでは、言葉などの困難を乗り越え頑張っているブラジル人やブラジリアンスクールの運営に携わる人たちが、意見を発表しました。

3月5日(土)：中央公民館



## 故人の偉大さを再認識 「逍遙をしのぶ会」開催

坪内逍遙博士の命日である28日に「逍遙をしのぶ会」が、太田小学校(太田本町)脇にある逍遙公園で、行われました。

没後70年目にあたる今年は、坪内逍遙博士顕彰会(会長佐光辰巳さん)関係者ら約30人が出席し、坪内博士の遺徳をしのんでいました。

2月28日(月)：逍遙公園(太田本町)



## 未来の自分へのメッセージ 「タイムカプセル」封印式

作文や習字などの作品を未来の自分へ贈る、タイムカプセルの封印式が各小学校で行われました。

これは、市制50周年事業として行ったもので、このうち三和小学校では、10年後の夏休みに開封する予定です。

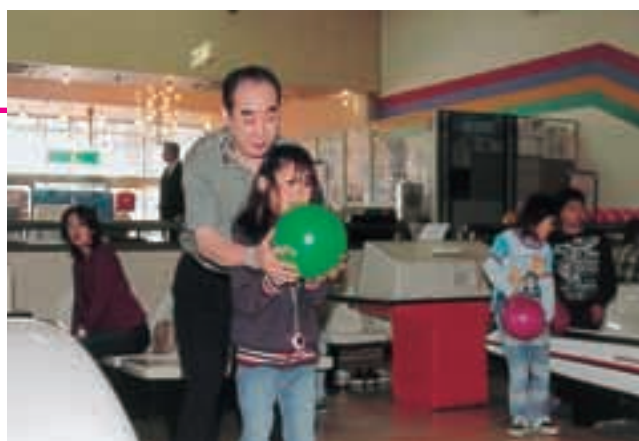
3月1日(火)：三和小学校

## 最初は、緊張しました 「親子ボウリング教室」

地域クラブ活動「MT夢クラブ21」の「親子ボウリング教室」が開催され、32人の親子が参加しました。

この体験教室は、同クラブが、子どもたちにいろいろなスポーツの楽しさを知ってもらおうと開催しました。

3月12日(土)：OSボウル(加茂川町)



## 防災は、自分の身の回りから ボランティア講演会

市ボランティア連絡協議会(会長三輪常夫さん)の主催による、ボランティア講演会が開かれました。

「災害とボランティア」と題して特定非営利法人レスキューストックヤード代表理事の栗田暢之(のりゆき)さんは、「防災には、家具転倒防止器具設置など各家庭の(災害に対する)日ごろからの備えが必要」と話していました。

3月11日(金)：総合福祉会館

